

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)海老名市泉2丁目計画新築工事	階数	地上13F
建設地	神奈川県海老名市泉二丁目992-36	構造	RC造
用途地域	工業地域	平均居住人員	684 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年2月 予定	評価の実施日	2023年8月10日
敷地面積	7,651 m ²	作成者	株式会社長谷工コーポレーション
建築面積	2,841 m ²	確認日	2023年8月10日
延床面積	20,333 m ²	確認者	株式会社長谷工コーポレーション



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.6 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.8

Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.0

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 2.7

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー LR1のスコア= 4.4

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 2.8

LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
中庭空間を中心に植栽帯を計画し、景観上緑豊かで、賑わいのある空間を形成した。また、外壁にガラス手摺を用いることで、周辺環境に調和した明るい共同住宅を目指した。		0
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
・二重壁によりDr値50を確保。 ・F☆☆☆☆を床、壁、天井、天井裏の面積の合計70%以上の面積に採用。	・建物全体のコンセプトや機能、快適性に配慮している。 ・住宅性能表示基準 構造躯体劣化対策等級3を満たす。 ・床材等は清掃しやすい素材(共用部: タイル張り)を使用し、極力段差のない計画とする。	・景観区域内の基準に基づく色彩配置としている。 ・低木と中高木を混色することで、立体化と広がりを生み出し、敷地周辺に対し潤いを与える計画とする。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
・外皮等に二方向面することで有効な採光・通風が確保されエネルギーを有効活用できるように配置している。 ・潜熱回収型給湯器エコジョーズ、複層ガラスの採用。	・二重壁・二重天井を採用し資源の再利用に配慮している。 ・PRTR法の対象物質を含有しない建材種別として、壁紙施工用接着剤にルーアマイルドを使用。	・ディスプレイ設備を採用。 ・駐輪台数を戸数の100%以上、駐車台数は戸数の70%を確保し、交通負荷の抑制を図った。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される